

# ながと しごかいだより

6月定例会号 NO.39  
平成27年8月1日発行



## INDEX

- ・ 6月定例会②～④
- ・ 一般質問⑤～⑨
- ・ 第2回臨時会⑩
- ・ 議会改革⑪

# 6月定例会 / 議案

総額 2 億 9,368 万円の補正予算など

## 3 議案を可決

6月定例会は、6月12日に開会し、7月3日までの22日間の会期で開かれ、成長戦略推進事業、地域スポーツ人口拡大推進事業など総額2億9,368万円の一般会計補正予算や長門市清掃工場焼却施設解体工事請負契約議案など、3議案をすべて原案のとおり可決しました。

**特集** 明日の長門市の命運をかける

## 交流拠点整備へ

仙崎地区グランドデザイン整備事業  
1億7,109万7,000円



6月定例会に予算計上された「仙崎地区グランドデザイン整備事業」は、仙崎地区グランドデザイン基本計画に基づき、農林水産物等の直売所整備に向けて、基本設計、実施設計を行うとともに、ショップ青海島の土地・建物の購入及び移転補償等を行う事業です。

議会では、今回の予算が、今後直売所建設など概算工事費約10億3,000万円に直結することから、本会議や委員会でも活発な議論が展開されました。

## 市長に出席を要請し質疑

### 予算決算常任委員会審査

予算決算常任委員会では、「仙崎地区グランドデザイン整備事業」に関し、活発な質疑が行われました。

委員から「直売所の経営について、赤字が発生した場合は4者が責任を持つのか」との質疑があり、執行部から「直売所においては独立採算制をとっており赤字については現在想定していない。万が一の場合には基本的には合同会社の中で協議されると思う。今後そうしたことにならないように頑張りたい」との答弁がありました。

続いて、委員から「水産物についてはどのような扱いになるのか」との質疑があり、執行部から「漁協を経由するか仲買を経由するかについては今からの協議になる」との答弁がありました。

ここで執行部に対する質疑を一旦打ち切り、委員間討議を行い、その後市長に対し出席を求め、市長質疑を行いました。

委員から「直売所の整備は生産者の所得向上になるのか」との質疑があり、市長から「第一義的には所得向上につなげていき、二つ目には雇用の拡大を図る。もう一つは加工したものが販売でき二次産業への波及が図られると考えている」との答弁がありました。

## さらに議論を深めるために

### 委員間討議で議論

予算決算常任委員会では、さらに議論を深めるべきだとの動議を受け、委員間討議が行われました。

討議ではまず「直売所が起爆剤となり、仙崎地区だけでなく長門市全体の活性化に繋がることを期待したい」との賛成の立場からの意見や「もう少し時間をかけて計画を検討する必要があるのでは」との慎重な立場からの発言がありました。

また、平成23年度に板持地区に計画されたものの、否決となった農産物等直売施設と比較し「当時は経営主体がはっきりしていなかったが、今回は合同会社が作られ、販路開拓、商品開発をしていこうという姿勢が見える」との発言もありました。

公設民営で行うことについては、「行政主導ではなく、民間が主導し行政が参加していくのが正しい形なのではないか」との発言がありました。

このほかにも多くの意見が出され、熱い議論が展開されました。最後に山根委員長から、この意見を踏まえ市長に対し質疑を行って欲しいとの発言があり、委員間討議を終りました。

さらに、委員から「この計画が民意を得て行う方が、計画を進めやすいのではないか。選挙が終わるまで待つてはどうか」との質疑があり、市長から「もちろん選挙が11月にあることは頭に入っているが、この事業を少しでも早く着手し、オープンまでの2年間で意見集約をしっかりと行う方が良いとの政策判断をした」との答弁がありました。

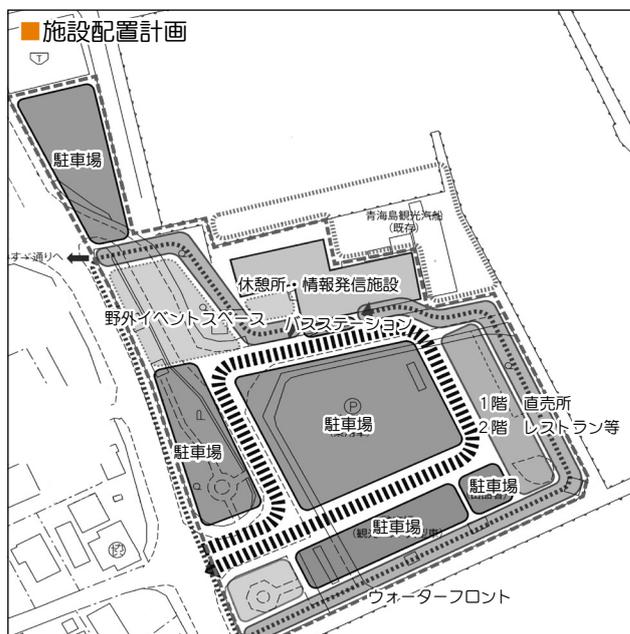
### 修正動議が提出されるも賛成少数で否決

林哲也委員から、「時間をかけ事業計画を精査・検証し、11月の市長選挙で、事業実施の是非を問うべき」との理由で、関連事業費全額を歳入・歳出から除く修正動議が提出されましたが、採決の結果、賛成少数（林哲也委員、末永卓也委員）で否決されました。



### 仙崎グランドデザイン基本計画とは

「食の拠点、文化の拠点及び自然の拠点を有する仙崎地区を本市の交流拠点として整備し、仙崎の地から市内各地へ誘導する」との基本構想をもとに策定されたもの。基本構想には「直売所の整備」「ウォーターフロント整備」及び「まちなみ整備」という3つの整備プランで構成され、様々な個別事業が盛り込まれています。



## 議案第1号

### 平成27年度 長門市一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算を2億9,368万6,000円増額し、総額を212億8,168万6,000円とするものです。

#### ラグビーワールドカップ2019 長門市キャンプ招致事業

291万円

市の組織改編により企画政策課内に世界大会等キャンプ招致室を設置したため、事業に係る予算を教育費から総務費へと組み替えるとともに、県が創設した世界大会等キャンプ地招致推進事業を活用した財源を充当するための予算です。



## 議案第3号

### 工事請負契約の締結について (長門市清掃工場焼却施設等解体工事)

平成27年6月8日、条件付き一般競争入札を実施した結果、2億1,789万円で落札した竹中土木・ナカケン特定建設共同企業体と、消費税及び地方消費税を加えた額2億3,532万1,200円で契約するものです。

総務民生常任委員会では、委員から大手ゼネコンと地元業者とが共同企業体として組まざるを得なかった入札条件について質疑があり、執行部から「本解体工事はダイオキシンを含む施設の解体をするためダイオキシンの飛散防止及び処理、それに伴う様々な事務手続きが必要となり通常の解体工事に比べ、より専門的な能力を問われることからダイオキシンを含む施設の解体実績を持つ企業、それと地元業者の共同企業体として条件を付けて入札を行った」との答弁がありました。

#### 放課後児童対策事業

580万円

深川児童クラブにおいて定員55人に対し98人の申し込みがあり、その受け入れに対応するため、既存施設に加え深川小学校1階多目的教室も利用し、保育を実施するための予算です。

#### 農業経営体質強化事業

3,012万円

米価下落等により経営悪化が懸念される集落営農法人等の体質を強化するため、収益性の高い作物の導入や低コスト化に向けた取り組みを行うための機械等の条件整備を支援する農業経営体質強化事業の新設に伴い、需要対応型育成事業から予算の組み替えを行うものです。

#### 新規就業者受入体制整備事業

575万円

新規就業者等新たな人材の受入や定着に向け、その受け皿となる集落営農法人等での体制強化や新規就業者用住宅の確保を支援する農業経営体質強化事業新設に伴い、需要対応型産地育成事業から予算を組み替えるとともに、住宅確保支援の補助金を計上するものです。

## 議案第2号

### 長門市報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例

市町村の合併の特例に関する法律の規定により旧市町区域にそれぞれ設置された4つの地域審議会が、本年3月末をもって、合併協議において定められた設置期間の10年が満了したことに伴い、地域審議会委員の報酬及び費用弁償の額を削除するものです。

#### 6月定例会議決結果

議案番号	件名	結果
1	平成27年度長門市一般会計補正予算(第1号)	原案可決
2	長門市報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例	原案可決
3	工事請負契約の締結について (長門市清掃工場焼却施設等解体工事)	原案可決
報告1	平成26年度長門市一般会計予算に係る 繰越明許費繰越計算書の報告について	-
報告2	平成26年度長門市公共下水道事業特別会計予算に係る 繰越明許費繰越計算書の報告について	-
報告3	平成26年度長門市農業集落排水事業特別会計予算に係る 繰越明許費繰越計算書の報告について	-
報告4	平成26年度長門市水道事業会計予算に係る 建設改良費繰越計算書の報告について	-
報告5	公益財団法人長門市文化振興財団の経営状況について	-

# 一般質問

一般質問は市政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や、市政に対しての意見や要望を述べ、市政をより良い方向へ導くものです。6月定例会では9人の議員が一般質問を行いました。



## 武田 新二 議員

○地方版総合戦略策定への議会との関わりは

○次期市長選へ出馬する気はあるのか

**問**▶ 地方版総合戦略策定の手引きには、各地方公共団体の議会においても、策定段階や効果検証の段階において、十分な審議が行われるようにする事が重要である、とあるが地方版総合戦略の策定にあたって議会とどのように関わっていくのか。

**答**▶ 策定段階においては、策定方針が定まった段階や人口ビジョン及び総合戦略をまとめた段階、また次年度以降については、実施した施策、事業の効果を検証する段階において議会の意見を聞く機会を設けたい。

**問**▶ 市長の任期を考えれば総合戦略策定に当たっては悠長に構えておられないと思うが、具体的な今後のスケジュールはどうなっているのか

**答**▶ 本年10月30日までに適切な成果指標が設定された総合戦略を策定した自治体には1,000万円を上限として交付金を上乗せする事となっている。このようなことから私の任期は11月までだが、任期等関係なく、これらの上乗せ交付の要件を満たす総合戦略を、10月30日までに策定する方向で作業を進めている。

**問**▶ 次の市長選に出馬する気はあるか。

**答**▶ 本年度は新たな指針である、地方への新しい人の流れをつくる地方版総合戦略を策定し着実に実行していかななくてはならない時である。地方が大きく変わろうとする中で、国や県とも緊密な連携を図りながら、芽吹き始めた事業が花開くよう2期目の長門市政を担い、チームを引っ張っていくことが私に課せられた最大の使命であると判断し、次期市長選への出馬を決意した。



まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会



## 大草 博輝 議員

○交流拠点から市内各地への誘導策は

**問**▶ 仙崎地区ランドデザイン基本計画には、3つの整備プランがあるが、民間の力や面で展開するとした視点が欠けているのではないか。

**答**▶ 仙崎の新鮮な魚や農産物を売る直売所・遊覧船などと連携したウォーターフロント整備・風情を残すまちなみ整備は、先行的に整備するものと中長期的に取り組むものがあり、今後、民間と連携しながら取り組んでいく。

**問**▶ 合同会社は、責任者と社員1人で販路開拓、商品開発などを行っている。出資をする団体から出向していただくことは出来ないのか。

**答**▶ 生産団体である農協、漁協、深川養鶏においては生産分野や首都圏へ販路開拓の面で、それぞれ支援をいただいている。会社の体制は、事業内容を勘案しても不足していることは認識している。各団体からの出向や市職員の出向については研究したい。

**問**▶ 基本計画では、野外スペースを活用した屋外出店ブースで市民なら何でも出店できる道の駅を提案したいがどうか。

**答**▶ 計画には、野外スペースに軽トラ市、フリーマーケット、仮設飲食店舗など想定し、市民みんなの道の駅にしたい。

**問**▶ バスステーションや仙崎地区巡回車は、今後の取組として検討するとしているが、市内外へのアクセスはどのように考えているのか。

**答**▶ 仙崎の直売所を基点に、市内各地の観光地に誘導するため、バス事業者や交通事業者などと協議をすることにしている。



青海島シーサイドスクエア

# 一般質問



**岩藤 睦子** 議員

○ながと物産合同会社の体制強化を

**問**▶ながと成長戦略行動計画の重点目標の一つであるながとブランドの大都市圏展開を担うながと物産合同会社が設立され、今年5月に1年を迎えたが振り返ってみてどうか。

**答**▶執行責任者の全国公募を行い、112人の応募者の中から選考し昨年10月1日に着任頂き、ホームページの開設や講演などで会社の設立目的や役割を理解して頂く取り組みを行ってきた。大都市圏を中心にフェアの開催や商談会に参加し首都圏等への地域製品の営業展開を行っている。課題としては、体制基盤の強化、営業活動の強化、商材の確保、出荷体制の構築、更にはマーケットニーズをつかんだ商品開発を進める必要があると考える。

**問**▶成長戦略推進課と連携して実施した食のワークショップは、ながと物産合同会社のものづくりとどう結びつけていくのか。

**答**▶料理提案は直売所のレストランのメニュー開発、新たな商品開発のヒントがあると考えている。

**問**▶「新しいモノづくりをして売る！」という成長戦略の心臓部分を強化する必要があると思うがどのように考えているのか。

**答**▶今年度新たに「ながとのおいしさ応援補助金」を創設した。民間力を引き出し、商品開発につながる取り組みをしていく。

**問**▶ながと物産合同会社の隣の空き部屋を加工場等としての有効活用ができないか。

**答**▶有効活用については、執行責任者とも協議し、28年度の予算要求ができるよう検討していく。



ながと物産合同会社



**重廣 正美** 議員

○公共施設等  
総合管理計画について

○山陰道（三隅・長門間）の  
事業化への取り組みについて

**問**▶長門市公共施設総合管理計画基本方針がこの度作成されているが、将来的に維持管理にかかる経費が特に問題になってくると考える。少子高齢化、過疎化が進む本市において維持管理費の削減、既存施設の統廃合等の考えを伺う。

**答**▶経年劣化している施設等の維持管理計画は、市民アンケート・パブリックコメント等により市民の声を十分に聞き、施設本来の利用目的を考慮の上、サービス低下とならないように統合・転用・廃止等の検討を行い、財政面での負担軽減を進めていきたい。

**問**▶工事中の長門・俵山間が『命の道』ならば、三隅・長門間そして俵山・豊田間を地域の活性化には欠かせない『産業の道』と考えている。国土交通省において、山陰道の未施工部分の優先順位の上位にあげられた三隅・長門間のルートを市長はどのように思い描かれているか。また、これから事業化されるまで、概略ルートの検討・決定されることへ市としてどのように関与されるのか。

**答**▶山陰道からのアクセスは、利便性の向上だけでなく、人と人との交流、観光振興、地域産業の活性化を果たすことから、市の将来にとっても重要性は極めて高いと認識している。通過都市とならないためにも、三隅・長門間から中心市街地や仙崎地区へのアクセスできるルート案を県と連携し、国に積極的に提案するとともに早期事業化に向け、要望活動や啓発運動に取り組む。



山陰道三隅インター



## 吉津 弘之 議員

○人口減少に歯止めを

**問**▶人口減少社会に突入し、本市においてもさらに急速な減少傾向にあり、地域経済全体に影響を与えていくことは明らかである。今後の対応についてどのように考えているのか。

**答**▶現在、地方への新しい人の流れをつくる「長門市まち・ひと・しごと創生総合戦略（地方版総合戦略）」の策定に向けた取り組みを進めているところであり、「ながと成長戦略」を柱として、定住促進に向けた「若い人たちが住みやすい環境づくり」や、「若い人たちが結婚し、子育てしやすい環境づくり」などの取り組みをさらに加速させるものとして、これを着実に実行することにより、全国に誇れる魅力ある長門市の創生につなげていきたい。

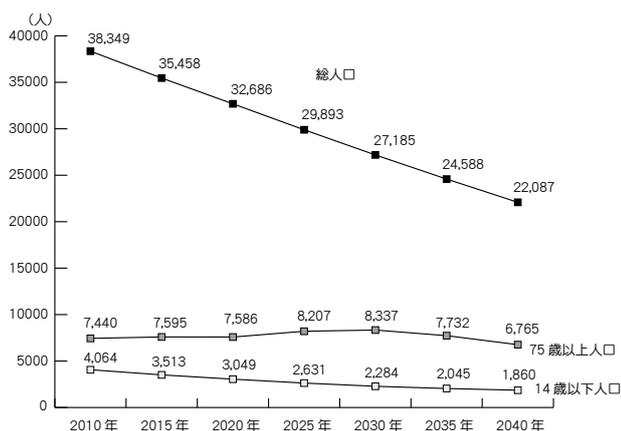
**問**▶企業誘致は市税収入の増大など地域経済の活性化にとって影響が大きいですが、その必要性についてどのように考えているのか。

**答**▶雇用を生み出すためには、企業誘致は大きな成果が期待できるものと考えている。本市の実情を考慮し、雇用や経済波及効果の高い業種を誘致する努力をしていきたい。

**問**▶起業支援策として、どういったことを実施していくのか。

**答**▶市独自の創業支援制度を含め、国・県の支援を有効に活用していくことで、新たな創業につなげていきたい。特に、市独自の創業支援制度については、より利用しやすい制度とし、国や県の支援には無い、創業後2年目、3年目の補助を計画し、創業後の経営安定化も支援していきたい。

■長門市将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所



## 先野 正宏 議員

○市民窓口の充実は出来ているのか

○市長の考えるまちづくりについて

**問**▶平成21年、市民相談に迅速に対応するため、企画政策課内に「すぐやる係」が開設されたが24年度で廃止になった。その後、市民相談係、消費生活センターがその業務を引き継いでいると思うが、市民相談に対する現状と課題について問う。

**答**▶相談については年々増加している。この要因は、平成25年に消費生活センターを設置したことで、消費生活相談が増加したことが挙げられる。課題として、増加している消費者問題の専門的相談員の育成が必要であると考えている。

**問**▶「すぐやる係」がなくなって、相談した内容が返ってこないとの声がある。係を復活出来ないか。

**答**▶すぐやる係を復活することは考えていない。しかし、十分な対応が出来ていないという指摘に対しては、市役所全職場で市民からの相談・要望について、スピード感を持って対応出来るようにしていく。

**問**▶市民からの相談をすぐに対応するためのツールの1つとして、スマートフォンの写真機能の活用を考えてはどうか。

**答**▶スマートフォンやICTを活用して、本市に有効な通報システムや相談システムが出来ないか、今後研究したい。

**問**▶今後のまちづくりの根本は、住民主体で行い、補助金ばかりに頼るべきではないと思うがどうか。

**答**▶市では市民の力をどう引き出していくかという分野が遅れているが、そういった事も視野に入れながら住民主体で補助金を活用していく事が今後は大事だと考えている。



消費生活センターは市民課窓口に併設されている

# 一般質問



## 重村法弘 議員

- 仙崎地区に計画している交流拠点整備について
- 俵山の観光振興の今後は

**問**▶ 仙崎地区に計画している交流拠点整備について市長の見解は。

**答**▶ 本年3月に仙崎地区グランドデザイン基本計画を策定した。食、文化、自然の拠点を有する仙崎を本市の交流拠点として整備していきたいと考えている。農水産物の直売所整備だけでは、交流人口の拡大や滞在時間の延伸、外貨の獲得といった目的を十分達成できない。まちなみの整備、ウオーターフロント整備を含め、3つ整ってこそ魅力ある拠点となると考えている。

**問**▶ ながと成長戦略行動計画に掲げる俵山地区の観光振興の今後は。

**答**▶ 計画には三つの重点施策を掲げているが、その一つが地域資源を活かした俵山地区の観光振興である。日本最高水準の温泉力をはじめ、イベント開催による交流人口の増加、ラグビー場利用のスポーツ合宿の増加が見られる一方、宿泊客数の伸び悩みや、経営者の高齢化、後継者不足の課題がある。今年度交流施設の整備を行うほか、空き旅館の活用、定住促進、創業に向けた支援などを行っていきたい。

**問**▶ 俵山スパスタジアムの来場者は、年間約5万人と推測でき、宿泊にも繋がっている。2019ラグビーキャンプ地誘致のことも考えれば、これからの交流人口の拡大、地域の活性化を視野に、施設の増設は考えられないのか。

**答**▶ 施設整備にあたっては、スポーツ合宿受け入れに配慮しながら、ワールドカップ終了後にも有効に活用される施設とすることが望ましい。費用対効果、災害時のことも勘案しながら検討したい。



俵山スパスタジアム



## 林 哲也 議員

- 介護保険「総合事業」にどう取り組むのか
- 湯本温泉の観光振興をどう展開するのか

**問**▶ 介護保険の要支援者サービス（訪問介護、通所介護）をなくし、市町村の「総合事業」への移行が始まったが、どう取り組んでいくのか。

**答**▶ 介護保険法の一部改正による新しい総合事業は、要支援者などへのサービス提供においては市町村が中心となり、地域の実情に応じて、NPOや民間事業所、ボランティア等の多様な主体が参画することができるようになった。介護予防・日常生活支援サービス事業への移行にあたっては、高齢者一人ひとりに適切な介護予防の支援ができるよう取り組んでいく。

**問**▶ 「観光都市長門の顔づくり」では、「旧老舗旅館跡地の利用計画を策定するなど、温泉街の魅力創出により、交流人口の拡大を図ることで、雇用創出や地域経済の活性化に繋げていく」としているが、その具体的な取り組み状況はどうなっているのか。

**答**▶ 温泉街の魅力創出の施策としては、成長戦略事業にも掲げている「散策したくなるまちづくり推進事業」として、湯本地区においては、旅館跡地を活用したまちづくり再生への取り組みを展開していく。解体工事は年内に終わることとしており、地元の人に愛され、観光客にも喜ばれる景観づくりや温泉街づくりを進める湯本温泉跡地等整備基本計画を12月までに策定する。

**問**▶ 温泉街の中心部で実施される解体撤去工事であるため、安全な施工を進めるよう、施工業者に対する指導を怠ってはならないと思うがどうか。

**答**▶ 住民、観光客の安全を第一に、しっかり指導していきたい。



解体中の旧白木屋グランドホテル

# 一般質問



**三村 建治** 議員

○公共工事の品質はどのように確保するのか

**問▶** 公共工事において、その品質が十分確保できていない事案が見受けられる。公共工事の監理・検査体制の現状と課題について問う。

**答▶** 公共工事については、「公共工事の品質確保の促進に関する法律（品確法）」により、品質確保の促進策が規定されている。公共工事の適正な施工、品質の確保と建設業の健全な発展に重点を置いた入札制度の見直しを進める中で、管理、検査体制の強化を図るとともに、引き続き地元業者の育成確保にも努めていく必要があると考えている。

**問▶** 東深川浄化センターし尿前処理施設整備工事において施工途中に不良箇所があったということであるが、施工不良箇所が発見された後、どのような対応をしたのか。

**答▶** 水張り検査を行ったところ、壁から水漏れ箇所を確認した。その後、施工業者から補修検討書が提出され、工事監理者と内容を確認し補修工事を指示した。補修工事完了後、再度水張り検査を行い、完全に止水されているところを確認した。

**問▶** 施工業者から、完成後 20 年間保証する旨の申出書が提出されているが、どのような考えで受け取ったのか。

**答▶** 施設は経年劣化をする。瑕疵担保については工事請負契約書で、引渡しを受けた日から 2 年以内としており、さらに重大な過失により生じた場合は 10 年と定めている。申出書の保証期間がこれよりも長く設定されており、十分と判断して受け取ったところである。



施設完成後、委員会で視察を行った

## ぎかい豆知識

### 「一般質問とは」

議会の活動として一般的に最も知られているのが一般質問です。この一般質問は、年 4 回の定例会で行われます。



#### ●議員主導の政策議論

一般質問は、議員が取り組んでいる政策や市の課題等行政全般にわたる事柄について、執行機関の見解、取り組みをたどしたり、また、提案、誘導していく議員主導の政策議論です。したがって、論議の深みや具体的方策の導き出し方も、それぞれの議員の手腕に掛かっているともいえます。

#### ●一問一答方式で 80 分以内

長門市議会では一問一答方式をとっており、質問の時間は、答弁も含め 80 分以内としています。また、質問者は 1 回目の質問は登壇して行い、2 回目以降は発言席で行うこととしています。

#### ●質問内容はホームページに掲載しています

長門市議会では定例会が始まる 8 日前までに一般質問通告書を提出することとしています。そして定例会が始まる 4 日前に開かれる議会運営委員会で定例会の日程等を決定し、その後、質問内容をホームページ等で公開しています。

氏名	通告時間	件名(要旨)	答弁者
1 武田新二	60分	地方版総合戦略と大西市長について (1) 地方版総合戦略策定のための手続きには、「地方版総合戦略」については、議会と執行部が車の両輪となって推進することが重要であることから、各地方公共団体の議会においても、地方版総合戦略の策定段階や効果検証の段階において、十分な議論が行われるようにすることが重要であるとある。総合戦略策定に当たっては議会のどのような役割を担うとするのか尋ねる。 (2) 単刀直入に聞く。次の市長選に出馬する気はあるか尋ねる。	市長 副市長
2 大塚博輝	60分	仙崎地区グランドデザイン基本計画について 「ながと成長戦略行動計画」の取組の一つに「仙崎地区グランドデザイン基本計画」がある。 計画では、3つの整備ラウンドが示されているが民間の力や、産で展開するとした視点が欠けていると思う。整備プランの議論を尋ねる。	市長 副市長
3 岩藤隆子	60分	ながと物産会社株式の体制強化について ながと物産会社が設立されて1年が経った。この1年を振り返り成果と課題は何か、これから商品開発や販路開拓に向けて市としてどのように取り組みを進めていくか尋ねる。	市長 副市長
4 重廣正英	40分	公共施設等管理計画について 長門市公共施設等総合管理計画基本方針を作成されたが、将来的な維持管理に「長門市」に特化した計画ではないかと考える。少子高齢化・過疎化が進む本市における考えを問う。	市長 副市長
5 吉津弘之	40分	山陰自動車道(三隅・長門間)について 国土交通省において、東工部分の従来位置の上位に挙げられたとされる山陰自動車道(三隅・長門間)を、市長はどのようにとらえられているかを問う。	市長
		人口減少社会における本市の定住対策について 2024年に人口がピークに達し総人口が減少に転じる人口減少社会に入ると、本市においても減少傾向にあり、人口減少は域内の産業の衰退、地域社会全体の衰退につながることは明らかで、今後深刻な問題となってくる可能性がある。本市の現状と今後の対応について尋ねる。	市長 副市長

# 第2回臨時会

## 新たな議会構成決まる

長門市議会第2回臨時会は5月7日（木）に開かれました。臨時会では執行部提出議案のほか、正副議長選挙をはじめ、現在の議員が選出されて2年が経過することから、任期満了による常任委員会（予算決算、総務民生、文教産業）委員の選任、議会運営委員の選任、萩・長門清掃一部事務組合の議会議員の選挙、議会だより特別委員の選任などの議会人事がおこなわれ、新たな議会構成となりました。

◎は委員長、○は副委員長

**議長** 岡崎 巧  
**副議長** 長尾 実

### 予算決算常任委員会

◎山根勇治 ○武田新二  
(議長を除く議員全員)

- 予算決算委員会の所掌事務  
一般会計の予算及び決算に関する事項

### 総務民生常任委員会

◎南野信郎 ○吉津弘之  
三輪 徹 岡崎 巧 武田新二  
三村建治 岩藤睦子 末永卓也  
※岡崎議長は、議事の公平性を確保する観点から6月定例会において総務民生常任委員を辞職しています。

- 総務民生委員会の所掌事務  
企画総務部、市民福祉部、会計課、消防本部、選挙管理委員会及び監査委員の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属さない事項（予算決算委員会に属する事項を除く）

### 文教産業常任委員会

◎重村法弘 ○重廣正美  
金崎修三 大草博輝 林 哲也  
山根勇治 先野正宏 長尾 実

- 文教産業委員会の所掌事務  
教育委員会、経済観光部、建設部及び農業委員会の所管に属する事項（予算決算委員会に属する事項を除く）

### 議会運営委員会

◎先野正宏 ○林 哲也  
山根勇治 三村建治  
重村法弘 南野信郎

## 議員間の融和と 個々の能力の向上を

このたび、議長に就任することになりました、岡崎巧です。

市民の皆様には、平素から議会活動に対しまして温かいご理解とご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

早いもので、新「長門市」が誕生して10年が経過しました。長門市のさらなる発展のために、信頼される議会を念頭に置き、議会運営に努めて参りたいと決意を新たにしたところでございます。

これからは議長として、議員間の融和を図るとともに、議案の審議能力の向上及び一般質問や議案審査で市政への課題や提言等を発信できる能力の向上を図ってまいりたいと思っています。



### 議会改革特別委員会

◎林 哲也 ○岩藤睦子  
(議長を除く議員全員)

### 議会だより特別委員会

◎岩藤睦子 ○末永卓也  
大草博輝 林 哲也  
重村法弘 吉津弘之

### 豊浦・大津環境浄化組合議会議員 萩・長門清掃一部事務組合議会議員

岡崎 巧 山根勇治  
重村法弘 南野信郎

### 議会選出監査委員に金崎修三議員

長門市監査委員の選任は、議会議員の中から金崎修三議員が選任され、議会は全会一致で同意しました。

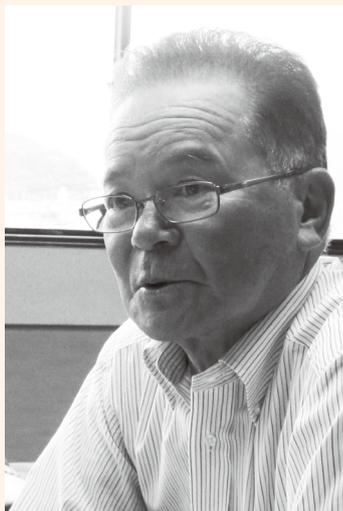
## 議長 岡崎 巧

さて、市民の皆様もご存知だと思いますが、議会は市長が提案する様々な事案に対し議決権を行使する議決機関です。そして執行部とともに市政の責任を分担し、市政運営に携わってまいります。

私は議長として、議決権の行使過程を大切にしていきたいと思っています。そのため議案審査では議員間討議を積極的に導入し、問題点の洗い出しにより議論を深め、より高い議決を目指すとともに、その過程で市長への質疑も取り入れるなど慎重審議に努め、議会として市民への責務を果たしてまいりたいです。

議会改革については、前年度に引き続き、議員全員が市民の皆様の下へ出向く議会報告会を開催し、市民の皆様から広く市政全般の意見や要望、また地域の切実な課題をお聞きするとともに議会へのいろいろな提言もお聞きし、そのことを消化し、市民の皆様への負託に答えてまいりたいと思います。

市民の皆様への温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。議長就任のあいさつとします。



## 専決処分の承認など

議案第1号は、長門市消防庁舎建設工事の設計業務において、確認申請に不測の日数を要する見通しとなり、設計業者から3月27日付で委託期間延長申請書が提出され、これを受け、3月30日付で繰越手続きとして、専決処分を行ったものです。

### ■第2回臨時会議決結果

議案番号	件名	結果
1	専決処分の承認について (平成26年度長門市一般会計補正予算(専決第2号))	承認
2	専決処分の承認について (長門市税条例等の一部を改正する条例)	承認
3	専決処分の承認について (長門市都市計画税条例の一部を改正する条例)	承認
4	専決処分の承認について (長門市過疎地域自立促進特別措置法による固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例)	承認
5	長門市固定資産評価員の選任について	同意
6	長門市監査委員の選任について	同意
報告1	専決処分の報告について(訴訟事件の和解について)	-

## 議会改革の取り組み

### 作業部会を設置

長門市議会は平成25年12月、議会基本条例の制定を主たる目的として、議会改革特別委員会(6人)を設置しています。この委員会は、「市民に開かれた議会」、「市民のために行動する議会」、「市民から信頼される議会」を議会改革の基本理念に据え、①意見交換会の推進に関すること、②議会報告会の実施に関すること、③議員(委員)間討議に関すること、④政策討論に関すること、⑤情報公開の充実に関すること、⑥情報通信の充実に関すること、⑦議会基本条例の制定に関すること ― を所掌事務とし、調査・研究を行っています。

5月7日の市議会第2回臨時会では、これまでの取り組みをさらに進展させるため、議長を除く議員全員を構成員とする議会改革特別委員会が設置されています。今回は所掌事務ごとに部会(①②=第1部会、③④⑦=第2部会、⑤⑥=第3部会)を設置し、議論を深めていきます。

### ■議会報告会の実施

住民の声が行行政や議会にどれだけ反映されるかどうかは住民自治の根幹にかかわる問題です。合併によって行政や議会が、地域住民から地理的にも精神的にも遠くなっているなかで、住民との対話をすすめるための具体的手段として、昨年に引き続き、市民との意見交換の場として議会主催の「議会報告会」を実施しました。

7月10日(金)日置農村環境改善センターを皮切りに、市内4会場で実施し、当初予算の概要説明、6月定例会の報告、議会や地域の課題などについて、住民のみなさんと意見交換を行いました。議長を除いて議員は2班に分かれ、それぞれの会場を担当し、司会、報告の分担もしながらの報告会でした。

議会改革の一環として取り組む「議会報告会」は、議会と住民の間で健全なコミュニケーションが図られるように、今後も努力を重ねていきます。詳細は議会だより9月定例会号でお知らせします。



## ☀️ つぎのぞかい 9月定例会の予定

9月4日	議案の提案説明など
9月8日	一般質問
9月9日	一般質問
9月10日	一般質問
9月11日	一部採決、議案の委員会付託
9月15日	予算決算委員会
9月16日	総務民生委員会、文教産業委員会
9月25日	最終日

(都合により変更になる場合があります)

## ☀️ ごあんない

長門市議会では、フェイスブックページにも、議会の情報をアップしています。是非ご活用ください。



←長門市議会フェイスブックページQRコード

## ☀️ シャッターチャンス 今月の一枚



仙崎祇園祭でのシャッターチャンスは山車の中で華やかに舞う、踊り子さんです。小学生とは思えない落ち着いた演技に、山車を囲んだお客さんからは大きな拍手が送られていました。

## ☀️ おわりに 編集後記

▶「これが議会だより!？」表紙を見て驚かれた方も多いと思います。議会だより特別委員会が新しいメンバーでスタートしました。表紙に写真を使った広報紙が多い中、直ぐに「これは議会だよりだ!!」とわかって手に取ってもらえるよう差別化を図るためこの様なかたちにしまし

た。▶似顔絵は議会事務局の職員が作成してくれました。特徴がよくとらえられていると思いませんか。▶文面も市民の皆様に解りやすくお伝えできるよう、委員一同頑張っていきたいと思えます。ご意見をお聞かせくださいね。



ながと市議会だより  
発行/山口県長門市議会  
編集/議会だより特別委員会

委員長	岩藤 睦子
副委員長	末永 卓也
委員	大草 博輝
	林 哲也
	重村 法弘
	吉津 弘之